

「第４次藤沢市公共施設再整備プラン（素案）」
パブリックコメント（市民意見公募）の実施結果について

パブリックコメント（市民意見公募）の実施結果について、藤沢市の考え方を付して公表します。

貴重なご意見をありがとうございました。

1 意見等を募集した件名

「第４次藤沢市公共施設再整備プラン（素案）」

2 パブリックコメント実施期間

２０２４年(令和６年)１１月２１日から２０２４年(令和６年)１２月２０日まで

3 資料の閲覧場所

市役所本庁舎６階企画政策課、市役所（本庁舎・分庁舎）総合案内窓口、市政情報コーナー、各市民センター・公民館、市ホームページ

4 意見等の提案の対象者

市内在住・在勤・在学の方、市内に事業所等を有する方、その他利害関係者

5 意見等の提出方法

郵送・ファックス・持参・市ホームページのパブリックコメント専用提出フォームのいずれかにて提出

6 意見等提出の状況

（１） 提出者数 １６人

（２） 項目数 ２４件

7 提出された意見・質問と市の考え方について

別紙のとおり

	意見等の 区分	ご意見	ご意見に対する市の考え方	意見等の 反映区分
1	①	施設の利用率について 市民センターや公民館の体育室、ホール、会議室、市民の家、スポーツ施設などの利用について、利用率、稼働率の面から評価するだけでなく、利用者の属性なども評価すべきではないでしょうか。 たとえば市民の家の利用率が80%であったとしても、限られたグループだけでの利用であった場合、真に「市民の家」として利用されていると評価するのは適切ではないと思います。地域住民数全体での利用率を基に、その施設が継続して必要であるならば地域住民の利用率向上を目指すようなプランが必要だと思います。 昭和の時代と違い民間の貸会議室やホールは多数あります。屋内プール、ジムなども同じです。果たして自治体が用意すべきかどうか、といった議論は当然行っているものと思いますが、大多数の市民が利用したこともない施設を継続させるのであれば、利用率を向上させるべきではないでしょうか。 施設をなくすことには大きな反対意見があると思いますが、おそらく意見を言わない市民の大多数は「いらない」と思っているのではないのでしょうか。	今後の人口減少や厳しい財政状況を考慮すると、全ての公共施設を今までと同じ規模で維持又は更新していくことは困難であり、公共施設の統廃合は、必要な取組のひとつと考えています。 統廃合の検討に当たっては、利用者の属性なども含めた稼働率等の利用実態、将来に向けた機能の有用性、維持管理費等の検証を行い、機能の必要性を明確にするとともに、現在の社会ニーズにあっているか、行政としての役割を終えていないか及び民間への機能移転により代替することが可能か検討していきます。	③
2	②	第3次プラン取組状況等についての「イ評価」の中で市民センターの体育室、ホール以外の諸室の稼働率の低迷が課題、と記載されています。過去の経験からですが市民センターの基本計画等に当たり、地域住民、市民センター利用者（サークル等）の代表を含めた建設検討委員会があり会議の中で出された意見や要望を基本計画に取り込んでいく作業がありますが、そこで出された意見、要望は、必ずしも多くの市民に必要なものではないと思われることもありました。しかし、会議の中の意見は議事録などにも記載され、計画の中に反映せざるを得ないということがありました。 このように、施設の在り方を検討する過程の中でその機能が真に必要なかどうか、多くの市民にとって将来にわたって有意義な機能であるかどうか、といった検証を行うシステムが必要であると思います。	公共施設の再整備の基本的な考え方を示した「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、公共施設の再整備に当たっては、稼働率等の利用実態、将来に向けた機能の有用性、維持管理費等の検証を行い、施設と機能を分離し、機能の必要性を明確にするとともに、現在の社会ニーズにあっているか、行政としての役割を終えていないか及び民間への機能移転により代替することが可能か検討することとしています。 公共施設の再整備に関する検討・審査については、公共資産活用等検討委員会において行っていますが、施設のあり方、機能の必要性についても、当該委員会で検証すべき事項として、今後の取組の参考にさせていただきます。	③

【意見等の区分】

- ① 計画全体に対する意見 ② 「Ⅰ総論」に対する意見
③ 「Ⅱ短期プラン」に対する意見 ④ 「Ⅲ長期プラン」に対する意見 ⑤ その他の意見

【意見等の反映区分】

- ① 計画に反映（一部反映）する ② 既に計画に位置づけられている
③ 今後の取組の参考とする ④ その他（1～3に当てはまらないもの）

	意見等の 区分	ご意見	ご意見に対する市の考え方	意見等の 反映区分
3	②	施設の再整備における庁内体制及び進捗管理についての公共施設再整備事業化フローの中に「施設の状況把握」があります。 この施設の状況把握の一つの分野として「現状建物の劣化等調査」が位置づけされると思います。 昨年度、一昨年度、スポーツ施設の建物調査を受託しましたが、完成図書はそのボリュームが多いことはさておき、極めて専門的な報告書となりました。すなわち、建物の建築、設備、電気など技術的な報告、建築基準法を代表とする関連法規に関する報告など、専門的な見識がないと報告書を生かすことができないような内容です。 各施設を管理する部署はそれぞれですが、建物の劣化状況は庁内でも専門知識を持つ担当課が必ず関与しないと、適切な「状況把握」をすることはできないと思われます。 主管課だけに任せず各施設を同等の評価の下に「状況把握」を行うことが重要と考えます。	現状建物の劣化等調査に係る報告書などの内容確認については、建築、設備、電気などの建築物に係る専門的な見識を必要とすることから、施設所管課だけでなく、技術専門職が配置されている部署と連携を図り、庁内横断的に取り組んでいます。	③
4	②	やみくもな複合化には反対です。徹底的に議論して、その経過を公表してほしい。	人口減少による税収減や、少子高齢化に伴う社会保障支出増大等、今後の市の財政状況を考慮すると、全ての公共施設を今までと同じ規模で維持又は更新していくことは困難であり、公共施設の機能集約・複合化は、将来にわたり、行政サービスを継続させていくために必要な取組のひとつと考えています。	④
5	②	今さらかもですが、近隣公共施設の機能集約、反対です。 公共施設は、地域にたくさんあって欲しいです。人口が減るだけに。	複合化については、再整備に係る基本構想等の段階で課題やメリットなどについて検討し、説明会等で報告しています。	

【意見等の区分】

- ① 計画全体に対する意見 ② 「Ⅰ総論」に対する意見
 ③ 「Ⅱ短期プラン」に対する意見 ④ 「Ⅲ長期プラン」に対する意見 ⑤ その他の意見

【意見等の反映区分】

- ① 計画に反映（一部反映）する ② 既に計画に位置づけられている
 ③ 今後の取組の参考とする ④ その他（1～3に当てはまらないもの）

	意見等の 区分	ご意見	ご意見に対する市の考え方	意見等の 反映区分
6	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 OURプロジェクトの再検討を提案したい。 本プロジェクトは発想以来5年を経過し基本構想は確立されている。然しながら直近の建築関連市況は高騰しており、本プロジェクトの推進環境は極めて厳しい。その中で今般、内水浸水対策が再検討され、当初構想と異なる方針が打ち出されたようであり、極めて時期を得た適切な対応と評価できる。就いては市民会館建替複合化についても思い切っで見直しを求めたい。そのポイントは複合化の中止である。市民会館の機能はホール・劇場と言った一時的大量集客が中心であるのに対し、複合化予定の諸施設は常設型であり運営方式が全く異なる。機能の異なる多種の施設を一体化して運営するのは一見合理的と見えるが、結果として機能の弱体化や将来の変化への対応も複雑化を招く恐れがある。 更に複合化を同時進行させることで建設費の規模は大型化を避けられない。 今回の複合化計画は将来の運営費用の効率化が主要目的であろうが、個々の文化施設の機能を弱めたり運用の弾力性を損ねては本末転倒となり、まさに箱物行政の見本となりかねない。今回の市民会館建て替えだけでも予算規模の大幅増大が予想されることでもあり複合化は見送り、個別施設の事情によりその方向性を改めて検討することを提案したい。	OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）において複合化する施設（機能）は、「藤沢市民会館等再整備基本構想」に示したとおり、「市民や利用者等が望む機能」、「市民会館や南市民図書館等の文化施設が集積されるエリアでのマッチング」、「機能集約による利便性の向上」、「生活・文化拠点エリア全体で創出可能な効果」、「財政負担の縮減」等の観点を踏まえ決定しております。	④
7	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 素案を読むと、老朽化した施設ばかりで予算がいくらあっても足りないのではと思いますが、それでも Our Project では、今後長きに渡って使用する市民の文化施設という観点から考えると、中身の充実した豊かな施設にするべきです。藤沢市は美術館、博物館がないという残念な部分はすぐには変えられないと思いますが、それだけにホールや図書館、ギャラリーは素晴らしく文化芸術に重きを置いていると、内外に誇れるようであってほしいと思います。現在は Our Project に関して具体的なことがあまり知らされていないと感じます。市民の意見や声を聞き、進捗状況についても詳しく知らせてもらいたいです。	OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）における施設整備は、「OUR Project マスタープラン（生活・文化拠点再整備基本計画）」に示したとおり、「境界のない機能の複合とすること」、「初期整備はシンプルかつベーシックとすること」を前提に検討を進めます。 また、管理・運営計画の検討及び基本設計の段階から供用開始後を見据えた市民参画の仕組みを構築するとともに、今後も適宜、情報発信等を行ってまいります。	④

【意見等の区分】

- ① 計画全体に対する意見 ② 「Ⅰ総論」に対する意見
③ 「Ⅱ短期プラン」に対する意見 ④ 「Ⅲ長期プラン」に対する意見 ⑤ その他の意見

【意見等の反映区分】

- ① 計画に反映（一部反映）する ② 既に計画に位置づけられている
③ 今後の取組の参考とする ④ その他（1～3に当てはまらないもの）

	意見等の 区分	ご意見	ご意見に対する市の考え方	意見等の 反映区分
8	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 全ての公共施設再整備に言えることですが、使っている市民や市民団体の意見を聞いて、それを生かしてほしいのです。 特に市民会館等の複合施設は10の施設が複合するので、今までどおり使えなくなることが予想されますが、意見を設計前に聞いてほしいです。（生かされないならアリバイにしなければならないけれど） 市民のもの、今までより良いものにするために、これまで市が行なってきたワークショップで意見を聞くだけでなく、市や業者と意見交換をして私たちの「市民会館等の複合施設」をつくっていききたいです。	公共施設の再整備の基本的な考え方を示した「藤沢市公共施設再整備基本方針」において、公共施設の再整備を進めるにあたっては、施設の近隣住民や利用者のほか、広く市民の意見を聴取するよう努めることや、事業の進捗状況を適宜公表し、市民との情報共有を図ることとしております。 OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）では、「OUR Project マスタープラン（生活・文化拠点再整備基本計画）」に示したとおり、管理・運営計画の検討及び基本設計の段階から供用開始後を見据えた市民参画の仕組みを構築してまいります。	④
9	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 OUR project の10施設もの複合は便利な面や他の分野に興味広がるメリットもあるかもしれないが、詰め込み過ぎてどれも中途半端な施設になるようで不安がある。 市民会館や青少年会館、図書館などこれからの子ども達が胸を張って活動できる施設を残していける藤沢であってほしい。 イトーヨーカドーの跡地はOUR project のエリア外と聞いているが、青少年会館や市民活動推進センター、市民ギャラリーなどが入る施設になると良いと思う。ペDESTリアンデッキで市民会館につながっていること、駐車場も併設されているメリットもあり、藤沢駅から市民会館までの流れがあることで市民の文化拠点を駅前から広げてくれるポイントとなりえる。 文化エリアへの道沿いは商店街の店構えも変わり、活性化への後押しとしないだろうか？ 売却の価格が折り合わないことが問題と思われるが… そうすることで市民会館エリアの一つひとつの施設にゆとりができるのではないだろうか。	OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）において複合化する施設（機能）は、「藤沢市民会館等再整備基本構想」に示したとおり、「市民や利用者等が望む機能」、「市民会館や南市民図書館等の文化施設が集積されるエリアでのマッチング」、「機能集約による利便性の向上」、「生活・文化拠点エリア全体で創出可能な効果」、「財政負担の縮減」等の観点を踏まえ決定しております。 また、複合化する施設（機能）の一部を賃借により、近隣商業施設跡地の新施設に分散配置することの検証を行いました。が、長期間の賃借は結果的に総事業費が過大となることから、行わないこととしました。	④

【意見等の区分】

- ① 計画全体に対する意見 ② 「Ⅰ総論」に対する意見
③ 「Ⅱ短期プラン」に対する意見 ④ 「Ⅲ長期プラン」に対する意見 ⑤ その他の意見

【意見等の反映区分】

- ① 計画に反映（一部反映）する ② 既に計画に位置づけられている
③ 今後の取組の参考とする ④ その他（1～3に当てはまらないもの）

	意見等の 区分	ご意見	ご意見に対する市の考え方	意見等の 反映区分
10	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 第4期プラン OUR Project（生活・文化拠点再整備）について まずは、OUR には、きっと私たちのという意味も入っているはず。（入っていてほしい）そこに市民が直接的にかかわっていける仕組みを作ってほしいと、何年も前から伝えてきましたが、結局は市民は後回しなんですわね。 新しい施設は、ネーミングライツということですが、もともとの市民会館、市民図書館という名前には、「市民のための市民が中心となる施設という意味が込められていたのに、それが無くなるのが、市民は中心に考えられていないのかと残念に思いました。 この計画が始まった時から、浸水対策施設についてずいぶん不安の声や反対の声が出ていましたが、この地にはかなり大掛かりな規模の浸水対策施設が必要とそのことで長く話し合いを重ねていたはずなのに、今になって規模縮小は疑問です。予算も縮小傾向とのことです。これから50年使い続けるこの施設が後悔してしまう施設にならないことを願います。基本計画が止まったことで、新施設供用開始が1年延びました。その間の市民や子どもたちが文化芸術に関わるチャンスが減ってしまうことの保証を考えてほしいです。	OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）では、「OUR Project マスタープラン（生活・文化拠点再整備基本計画）」に示したとおり、管理・運営計画の検討及び基本設計の段階から供用開始後を見据えた市民参画の仕組みを構築してまいります。 また、ネーミングライツの導入については、財源確保策の一つとして、管理・運営計画の策定及び基本設計の実施にあわせて、具体的に検討していきます。 内水浸水対策施設については、既存の藤が谷ポンプ場の排水能力を最大限に活用することで機能分散を図り、新設するポンプ場の施設規模を縮小しておりますが、対象としている排水区から河川への放流量に変更はなく、浸水シミュレーションにより浸水軽減の効果を確認しています。 市民会館の休館期間においては、ホールといった特別な場に限らず、屋外など身近な場所での音楽コンサートの提供など、アウトリーチでの活動も積極的に進めていくことで、幅広い世代の市民の興味・関心を高めていきたいと考えております。	④
11	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 普段から市民会館で親子で演劇鑑賞をしています。なので令和4、5年に藤沢市で開催されたシンポジウムや市民意見交換会などに参加させて頂き関心を寄せています。 市で行う資産再整備はかなり前から検討されて、実際に事業化されるとは思いますが、どんな事業であれ基本コンセプトや方針を決める段階で市民に開かれた情報公開と市民も参加して方針が決まるのが良いと思いました。もちろん設計や工事現場の事はプロにお任せするのが一番ですし。 （市民が意見を言う？クレーム）ではなくて、市民が自分達の住んでる所を職員の方とより良い所にしたい、市民が藤沢市を好きになる、市民が育つと思いたいです。	OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）では、「OUR Project マスタープラン（生活・文化拠点再整備基本計画）」に示したとおり、管理・運営計画の検討及び基本設計の段階から供用開始後を見据えた市民参画の仕組みを構築してまいります。なお、この仕組みについては、市職員も参加するものとなります。	④

【意見等の区分】

- ① 計画全体に対する意見 ② 「Ⅰ総論」に対する意見
③ 「Ⅱ短期プラン」に対する意見 ④ 「Ⅲ長期プラン」に対する意見 ⑤ その他の意見

【意見等の反映区分】

- ① 計画に反映（一部反映）する ② 既に計画に位置づけられている
③ 今後の取組の参考とする ④ その他（1～3に当てはまらないもの）

	意見等の 区分	ご意見	ご意見に対する市の考え方	意見等の 反映区分
12	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 （６）実施事業の OUR Project の事業スケジュールについて供用開始予定が従来の令和 12 年から令和 13 年に延期されています。 2024 年 11 月 28 日に開催された藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会でも延期についてはその詳細は説明されていないかと思ひます。 1 年の延期について市民会館の利用停止期間の延長による影響や再整備プラン全体への影響などの懸念事項がないのか説明の場が必要と考えます。	令和 6 年 1 1 月 2 8 日に開催した藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会において報告しましたとおり、近隣商業施設跡地活用に係る事業との連携の検討等を行ったことにより、整備スケジュールを見直し、令和 1 3 年 4 月の供用開始予定としたものです。今後、設計段階において工期の短縮等の検討を行ってまいります。	④
13	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 藤沢市は人口 4 4 万人の文化都市を標榜しながら、単独の美術館、博物館の建物が無い。 市民会館、南図書館の再整備については、基本構想の策定を終え、基本設計・業者選定の段階に入っていると思われるが、美術館、博物館の建設を最大限考慮し、下記のとおり複合化の施設を No. 8→No. 4 程度に絞り込むべきだと考えます。 記 1. 市民会館 2. 市民ギャラリー 3. アートスペース 4. 南図書館 5. 文書館 6. 常設展示館 7. 青少年会館 8. 市民活動推進センター ↓ 1. 市民会館（大・小ホール） 2. 南図書館 3. 美術館 4. 博物館 （イトーヨーカ堂跡地の買収？）	OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）において複合化する施設（機能）は、「藤沢市民会館等再整備基本構想」に示したとおり、「市民や利用者等が望む機能」、「市民会館や南市民図書館等の文化施設が集積されるエリアでのマッチング」、「機能集約による利便性の向上」、「生活・文化拠点エリア全体で創出可能な効果」、「財政負担の縮減」等の観点を踏まえ決定しております。	④
14	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 OUR project について 市民の為の施設であって欲しいです 共用開始までに他の施設を困難なく使える様にして欲しいです	OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）では、「OUR Project マスタープラン（生活・文化拠点再整備基本計画）」で示したとおり、管理・運営計画の検討及び基本設計の段階から供用開始後を見据えた市民参画の仕組みを構築してまいります。 市民会館の休館に伴い、供用開始までに湘南台文化センターをはじめ、F プレイスや各市民センター、また民間の施設などが代替施設として想定されます。文化団体等の活動の参考としていただけるよう代替施設情報を提供しております。	④

【意見等の区分】

- ① 計画全体に対する意見 ② 「Ⅰ総論」に対する意見
③ 「Ⅱ短期プラン」に対する意見 ④ 「Ⅲ長期プラン」に対する意見 ⑤ その他の意見

【意見等の反映区分】

- ① 計画に反映（一部反映）する ② 既に計画に位置づけられている
③ 今後の取組の参考とする ④ その他（1～3に当てはまらないもの）

	意見等の 区分	ご意見	ご意見に対する市の考え方	意見等の 反映区分
15	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 OUR project について ・複合する各施設の現場の職員の方々に意見を聞くだけでなく、基本設計、管理運営において主体的に関わって頂けるようなシステムを希望します。今後、民間事業者と進めるにしても、日々現場で市民のために業務を行なう中で培われた経験や専門性、藤沢市の施設ならではの課題、理想を持っておられる方々には、ぜひ新しい施設でも力を発揮して頂きたいと、一市民としてお願いしたいです。 ・事業者選定には、一般市民も意見できる、できれば応募された各事業者の方々と対話できる場を設定して頂きたいし、選定そのものにも、何らかの形で関わらせて欲しいです。また選定後も計画を進めるにあたり、市民が主体的に関われて、行政、事業者の皆さんと共に当事者としての役割を任えるようになれば、より一層この事業、施設そのものについて、市民としての愛着・責任が持てると思います。 ・市民会館の閉館が2026年3月に決定していますが、供用開始が遅くなるにあたって、閉館も遅らせることはできないでしょうか？現利用者としては、休館期間が長引くことは大きな痛手です。また代替施設については、案内だけでなく、申し込み方法、使用料金など少しでも利用しやすくして、市民にとってこの5年間の文化的空白とならぬ様、何らかの方策を検討して頂きたいです。	OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）では、「OUR Project マスタープラン（生活・文化拠点再整備基本計画）」に示したとおり、管理・運営計画の検討及び基本設計の段階から供用開始後を見据えた市民参画の仕組みを構築してまいります。 また、事業者選定に係るプロポーザルの実施にあたっては、選定プロセスの見える化を図るため公開型のプレゼンテーション等の導入を検討しています。なお、審査選定委員に市民公募枠を設けるといった直接的な関わりについては、利害関係等の整理が困難なことから考えておりません。 市民会館の休館については、解体工事の着工時期や現施設の維持費等を鑑み、遅らせることは困難と考えております。 また、供用開始までに湘南台文化センターをはじめ、Fプレイスや各市民センター、また民間の施設などが代替施設として想定されます。文化団体等の活動の参考としていただけるよう申し込み方法含め代替施設情報を提供しております。代替施設の利用に係る料金については、施設ごとの料金をご負担していただいた上で利用するものであり、補填等については考えておりません。	④
16	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 市民参画の在り方として、基本設計、管理運営の各事業者選定にあたって、丁寧な情報公開と市民も選定に積極的に関われるようにすべきと思います。また、事業者決定後も行政・事業者の方々と共に市民、複合する各施設の現職員、様々な分野の専門家等多方面からのメンバーで意見を交わして供用開始後も含めてこの事業に反映してゆけるような機関が必要だと思えます。 計画が変更されて、供用開始が2031年4月になりましたが、市民会館の閉館は2026年？末のままです。閉館時期を先延ばしにできないでしょうか。利用者にとって休館期間が長引くのは文化活動の大きな妨げとなります。また、代替施設について、案内だけでなく申込方法、使用料金等少しでも利用しやすくして、市民の文化的環境が5年間損なわれることが無い様、何らかの方策を検討するべきと考えます。	同上	④

【意見等の区分】

- ① 計画全体に対する意見 ② 「Ⅰ総論」に対する意見
③ 「Ⅱ短期プラン」に対する意見 ④ 「Ⅲ長期プラン」に対する意見 ⑤ その他の意見

【意見等の反映区分】

- ① 計画に反映（一部反映）する ② 既に計画に位置づけられている
③ 今後の取組の参考とする ④ その他（1～3に当てはまらないもの）

	意見等の 区分	ご意見	ご意見に対する市の考え方	意見等の 反映区分
17	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 市民会館についてですが、今まで市民から届けられた意見や要望を生かして建て替えをしてほしいと思います。公共施設として、大変な思いをしている人にこそ芸術が生きる力をつけるような、市民のための会館にするべきです。藤沢に相応しい規模で、利用しやすさ、バリアフリーはもちろんですが、商業主義でなく、市民のための市民会館をお願いします。	OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）では、「OUR Project マスタープラン（生活・文化拠点再整備基本計画）」に示したとおり、管理・運営計画の検討及び基本設計の段階から供用開始後を見据えた市民参画の仕組みを構築してまいります。 また、財政負担の軽減を図るため、一定の収益性を求めていく必要があると考えております。	④
18	③	【OUR Project（生活・文化拠点再整備事業）】 現在までの実施状況を整理し、市民会館等の再整備について市民向けの公開シンポジウムを令和6年度中に開催し、直接広く市民の要望を聴取して欲しいと思います。	シンポジウムについては、公民連携によるまちづくりの視点から、生活・文化拠点の未来像について市民と共有し、気運の醸成を図るため、令和4年度には公民連携とエリア価値について、令和5年度には市民参画を題材として開催しました。 令和6年度については、近隣商業施設の跡地活用に係る事業との連携のほか、今後の財政見通しを踏まえた事業費の縮減や平準化の検討を行いました。結果として、「OUR Project マスタープラン（生活・文化拠点再整備基本計画）」に示した事業手法等に関する変更は生じなかったことから、改めての説明会やシンポジウム等の開催については予定しておりません。なお、来年度以降については、管理・運営計画の検討及び基本設計の段階から供用開始後を見据えた市民参画の仕組みを構築してまいります。	④
19	③	【鵠沼市民センター等再整備事業】 サウンディング調査しているようですが、意見交換会で出た内容について精査後にどのような結果に至ったのか、採用、不採用の意見について公表して欲しい。	意見交換会でいただいたご意見につきましては、個別に採用・不採用とするものではなく、住民の方々からのご要望として承るなかで、その後の事業検討の参考とさせていただいております。 検討の結果、どのようなプランを選定することとなったかにつきましては、今後も定期的開催する予定の意見交換会などの機会を通じてお示ししてまいります。	④

【意見等の区分】

- ① 計画全体に対する意見 ② 「Ⅰ総論」に対する意見
③ 「Ⅱ短期プラン」に対する意見 ④ 「Ⅲ長期プラン」に対する意見 ⑤ その他の意見

【意見等の反映区分】

- ① 計画に反映（一部反映）する ② 既に計画に位置づけられている
③ 今後の取組の参考とする ④ その他（1～3に当てはまらないもの）

	意見等の 区分	ご意見	ご意見に対する市の考え方	意見等の 反映区分
20	③	【鵠沼市民センター等再整備事業】 集約を検討している施設が多い割に計画スペースが小さい。各施設の現在の面積と新しく計画しているスペースの面積比を公表して欲しい。 色んな世代が集う場所を目指しているようだが、中高大学生をターゲットにした場所はどのように検討しているか教えて欲しい。 子どもが多い地域のため、子どもの家を集約するより、子どもの居場所を増やすような計画をして欲しい。	藤沢市公共施設再整備基本方針において示すとおり、施設の複合化にあたっては、必要な機能を集約し、過剰なスペースや設備を削減していくことを基本的な考え方としております。 複合化を検討している施設の現状と新施設の計画面積については、現在策定中の基本構想のなかで最終的に示したいと思います。 青少年の居場所となるスペースにつきましては、予約せずに利用可能な学習スペースや交流スペースなどのフリースペースや、軽食等の提供が可能なカフェスペースの新設を検討しております。	④
21	③	【鵠沼市民センター等再整備事業に複合化される湘南なぎさ荘について】 藤沢市が想定している最大・最速津波（なぎさ荘で3m超、地震発生より5分）の襲来を想定しますと、避難可能な津波避難ビルは湘南なぎさ荘、シグナスショールン及びユアサハイム鵠沼海岸と言うマンションの計三棟だけです。湘南なぎさ荘の避難人数が376人に対し、シグナス及びユアサ両方を足しても337人しかなく、湘南なぎさ荘が無くなれば半分以下となり、周辺は戸建て住宅地なので人々の集中により避難できなくなります。 湘南なぎさ荘の廃止理由として、地下のボイラー設備の老朽化と修理不能が挙げられています。これによってRC造建築物の耐用年数である50年の満了前に廃止することになれば、当初の建築運用計画が杜撰であった事となり、責任問題ではないでしょうか？ また、地下にあるボイラーが使用不能になったとしても、地上に代替設備を設けたり、ソーラーパネルなどの最新技術による給湯など、検討する余地はあるはずですが、そのような検討が行われた形跡はありません。 現在の計画では、湘南なぎさ荘の廃止により、老人福祉機能を鵠沼市民センターに統合する予定と伺っておりますが、風呂は継承されないとのこと。であれば、最悪、湘南なぎさ荘をボイラーを廃棄した形で残しても同じでは無いでしょうか？ 鵠沼市民センターの改築理由は、3mの津波を想定した避難施設とすることのようですが、そのために湘南なぎさ荘周辺の住民が犠牲になるとすれば、地域差別以外の何物でもありません。ぜひ計画の再考をお願いします。	湘南なぎさ荘は、市内に3つございます、60歳以上の方が利用いただけるいきいきシニアセンターの1つであり、現在その施設のあり方を検討しております。 今後の湘南なぎさ荘につきましては、いきいきシニアセンターとしての機能のみならず、市民センターに併設することでの多世代との交流も目的とした共生型として、同地区内での鵠沼市民センターの改築に合わせ、移転する方向性で調整を行っているものです。 現状の湘南なぎさ荘を今後も維持していくためには、ご指摘いただいておりますボイラーだけではなく、設備機器の耐用年数の経過に伴う入替えや、建物の延命化の措置につきましても、別に費用が掛かることなども踏まえさせていただきます。 また、施設を維持するための工事や修繕費、運営費など費用が大きくかかる点や、利用者の固定化などの課題を踏まえ、湘南なぎさ荘の今後について検討を行ったものでございます。 築33年の湘南なぎさ荘の移転に伴う、現存の建物及び土地の活用の方性につきましては検討中でありますので、避難施設としての視点など、いただいたご意見を庁内関係各課にも共有させていただきますので、何卒ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。	④

【意見等の区分】

- ① 計画全体に対する意見 ② 「Ⅰ総論」に対する意見
 ③ 「Ⅱ短期プラン」に対する意見 ④ 「Ⅲ長期プラン」に対する意見 ⑤ その他の意見

【意見等の反映区分】

- ① 計画に反映（一部反映）する ② 既に計画に位置づけられている
 ③ 今後の取組の参考とする ④ その他（1～3に当てはまらないもの）

	意見等の 区分	ご意見	ご意見に対する市の考え方	意見等の 反映区分
22	③	【文化財収蔵庫再整備事業】 文化財収蔵庫に多額の税金を投入することに反対です。いくらかかるか書いてありませんが、タウンニュースでは13億円と書いてありました。しかも、収蔵庫というのは空調などのことを考えるとランニングコストが非常に多く必要と言われています。こういうことを考えれば、この施設を建設して運営していく意義は低いです。	考古資料や民俗資料など文化財については、後世に伝えていくべき市民の貴重な財産ですが、保管管理を行っている複数の文化財収蔵庫のいずれも老朽化が進んでおり、適正な管理のため新たな施設の整備が必要です。 現在、その機能や建設予定地などの見直しを行っているため、建設費やランニングコストは今後の検討によりますが、新たな収蔵庫は、単なる保管のための施設ではなく、展示や体験を通して市民の皆さんが藤沢の歴史を感じることができるような施設としてまいります。	④
23	④	市民の家について。現在は稼働率が低くても子ども・青少年から高齢者まで地域の住民が誰でもいつでも使える、集える居場所は、今後一層大切になると思います。施設ごとに地域の利用者、住民が話し合っ、どのような機能と設備が必要かビジョンを出してから建替え等すすめるべきではないでしょうか。	地域市民の家は、地域住民の活動場所として、日頃、地域を支える地域コミュニティの醸成に重要な役割を果たしていると認識しております。 施設の再整備につきましては、地域住民のご意見を伺いながら必要な機能や設備を検討し、本市の計画や財政状況等との整合を図った上で整備計画に反映しておりますので、引き続き、地域市民の家が地域の皆さまに愛される施設となるように努めてまいります。	④
24	⑤	素案からはこれからの施設整備は民間活用型が多くなるであろうことが感じられます。 公共資産の活用という点からは、有意義であることは理解します。しかし、設計や建設に地元企業の参入が難しいという現実があります。 このことは地元の経済に影響があることは必至です。地域経済は循環型であることが、地元企業、自治体双方に利益になります。 現状、地元の建設に関わる企業数は減る一方です。高齢化により技術者も大幅に減っています。 しかし、災害時の緊急出動や小規模な修繕改修等はこれまでも増して増えていくものと思われます。 民間活用型の発注により、庁内の技術職も管理のみの業務になり設計など実務に接する機会が少なくなっているのではないのでしょうか。 いざという時のために専門技術者が減らないようなプランも必要です。	今後の人口減少や厳しい財政状況を見据えた中で、将来にわたり、持続可能な市政運営を行っていくためには、市民、事業者、行政が協働していくことが効果的であると考えています。 公民連携を推進していくためには、周辺地域への経済効果を発生させる地元企業が重要と考えていますので、公共施設の再整備に当たっては、地元企業との連携を積極的に進める中で、地域経済の活性化に努めてまいりたいと考えています。 あわせて、職員の技術力の維持・向上にも努めてまいりたいと考えています。	③

【意見等の区分】

- ① 計画全体に対する意見 ② 「Ⅰ総論」に対する意見
③ 「Ⅱ短期プラン」に対する意見 ④ 「Ⅲ長期プラン」に対する意見 ⑤ その他の意見

【意見等の反映区分】

- ① 計画に反映（一部反映）する ② 既に計画に位置づけられている
③ 今後の取組の参考とする ④ その他（1～3に当てはまらないもの）

以 上